

## 県高校春季の優勝者

### 男子

100m	山路康太郎	(四日市工)	10秒76(+0.4)	
200m	林 哉太	(四日市工)	21秒63(-0.3)	
400m	西山 遥斗	(宇治山田商)	49秒39	
800m	岡田 太陽	(伊勢学園)	1分56秒69	
1500m	山本 恭澄	(伊賀白鳳)	4分01秒06	
5000m	鉄川 歩	(伊賀白鳳)	15分11秒09	
110mH	古谷 新太	(宇治山田商)	14秒43(+2.0)	大会新
400mH	安井 弦	(鈴鹿高専)	56秒05	
3000mSC	九嶋 大雅	(伊賀白鳳)	9分14秒74	
5000mW	服部 有佑	(伊賀白鳳)	21分31秒30	
4×100mR	四日市工	(西山-林-高橋-山路)	40秒69	大会新
4×400mR	宇治山田商	(中村-濱口-宮脇-西山)	3分20秒25	
走高跳	本田 基偉	(近大高専)	2m04	
棒高跳	松井 駿斗	(伊勢)	4m70	
走幅跳	伊藤 陸	(近大高専)	7m30(+2.7)公認最高7m22(+1.5)	
三段跳	伊藤 陸	(近大高専)	14m86(-0.7)	
砲丸投	宮崎 武斗	(四日市工)	15m65	
円盤投	鴨澤 青海	(宇治山田商)	47m97	
ハンマー投	川合 隆誠	(三重)	63m45	大会新
やり投	樋口 大志	(桑名西)	56m60	

### 女子

100m	飯田 英恵	(セントヨゼフ)	12秒44(+0.9)	
200m	飯田 英恵	(セントヨゼフ)	26秒20(-2.0)	
400m	水野 華歌	(桑名)	59秒03	
800m	金光 葉子	(伊勢)	2分19秒88	
1500m	川北 陽菜	(津商)	4分33秒17	大会新
3000m	垣内 瑞希	(桑名)	9分55秒62	
100mH	奥林 凜	(四日市商)	14秒46	
400mH	奥林 凜	(四日市商)	1分03秒24	
5000mW	井上 香里	(上野)	25分52秒34	
4×100mR	宇治山田商	(幸得-堂岡-片山-西村)	48秒16	
4×400mR	四日市商	(佐藤-奥林-吉岡-柴原)	4分05秒73	
走高跳	藤田 紗江	(松阪商)	1m68	大会タイ
棒高跳	辻井 和音	(皇學館)	3m00	
走幅跳	村田 千夏	(松阪商)	5m76(+2.2)公認最高5m66(+0.4)	
三段跳	中山 実優	(三重)	11m92(-0.1)	大会新
砲丸投	床辺 彩乃	(松阪商)	13m26	
円盤投	桃園 晴菜	(松阪商)	40m92	
ハンマー投	小林 ゆい	(菰野)	48m24	
やり投	西野 優里	(松阪商)	45m93	

## 県高校春季を振り返って

好天に恵まれた今年の春季大会、冬季練習を乗り越えてたくましく成長した姿をたくさん見ることができました。

### 男子

ハンマー投の川合隆誠君（三重3年）はシーズン序盤から好調な投げを連発。全国の強豪と肩を並べています。県総体、東海総体も全国総体と同じ会場である地の利を生かし、着実に駒を進めてほしいところです。1投目に好記録を出す競技展開ができれば鬼に金棒でしょう。春先から好記録を連発しているのは800m優勝の岡田太陽君（伊勢学園3年）。県総体でも東海総体・全国総体を意識した積極的なレースを期待します。110mH優勝の古谷新太君（宇治山田商3年）は久しぶりに会心のレースで大会新記録を樹立。ハードルを越える局面での推進力、スピード感がすばらしく、見応えがありました。八種競技でも全国入賞する実力を備えているなか、ハードルに専念した古谷君。8月6日の本番に向けて一步一步階段を登ってほしいと思います。

跳躍にも好選手が目白押し。近大高専は走幅跳・三段跳優勝の伊藤陸君（3年）を中心に走高跳優勝の本田基偉君（2年）、三段跳の大山佑天君（2年）あたりもすばらしい素質を持っており、今後大きく化ける可能性が十分にあります。

2年生パワーは他種目にも見受けられ、円盤投優勝の鴨澤青海君（宇治山田商）、走高跳2位の小川エンリケ君（亀山）、棒高跳優勝の松井駿斗君（伊勢）、同2位の白井颯斗君（皇學館）、走幅跳2位の藤本大輝君（皇學館）、男子三段跳2位の田口雄暉君（津東）、男子円盤投2位の三井康平君（稲生）など枚挙にいとまがありません。棒高跳4位の池上陽向君（近大高専）と同5位の野呂仁人君（皇學館）は1年生。東海総体を突破できれば1年生で全国入賞ということもあるかもしれません。夢が広がります。

短距離は山路康太郎君（3年）を中心とした四日市工に注目が集まります。山路君が得意とする200mと4×100mRは実力十分です。リレーの常連宇治山田商とともに全国総体で決勝の舞台に立ち、優勝争いを繰り広げてほしいものです。

### 女子

フィールドを中心とした松阪商の勢いが止まりません。春季大会ではフィールド種目8種目中5種目で優勝。各種目複数の入賞者を輩出しています。走高跳の藤田紗江さん（3年）は一昨年度の岡山総体7位豊田舞奈さん（3年）との優勝争いを制し、大会新記録を樹立しました。二人にとってよい刺激になったことと思います。他のどの種目も全国大会で入賞する力を備えており、全国総体での活躍が目に見えつつあります。

女子は男子以上に1・2年生パワーが炸裂しています。100m・200mの飯田英恵さん（セントヨゼフ2年）、3000mの垣内瑞希さん（桑名2年）、100mH・400mHの奥林凜さん（四日市商2年）、5000mWの井上香里さん（上野2年）、棒高跳の辻井和音さん（皇學館1年）、砲丸投の床辺彩乃さん（松阪商2年）、円盤投の桃園晴菜さん（松阪商2年）、やり投の西野優里さん（松阪商2年）が春季大会を制しました。

迎え撃つ3年生では、三段跳優勝の中山実優さん（三重3年）と1500m優勝の川北陽菜さん（津商3年）が大会新記録を樹立。中山さんは早くから注目された逸材で、1回目の試技で12mを越える跳躍をして生まれ故郷に錦を飾ってほしいと切に願います。ハンマー投優勝の小林ゆいさん（菰野3年）、同2位の坂本日和さん（松阪商3年）、同3位の片岡さやかさん（松阪商3年）にも全国総体入賞のチャンスは十分にあります。

県総体では、昨年の県高校新人大会を席卷した伊勢がどこまで巻き返してくるかも楽しみのひとつです。

（三重県高体連陸上部委員長 向井俊哉）